

報告事項シ

企画展「Variations－絵画の多様性」の開催について

企画展「Variations－絵画の多様性」の開催について、別紙のとおり報告します。

平成25年12月20日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

企画展「Variations—絵画の多様性」の開催について

平成25年12月20日
博 物 館

1 概 要

「シリーズ 鳥取の表現者」は鳥取にゆかりのある、現在活躍中、もしくは近年物故した作家を、年齢、ジャンルを問わず広く取り上げ、今日の鳥取県の美術状況を紹介する展覧会です。5回目となる本展では初めてグループ展という形式をとり、現在県内外で活躍する4人の若手画家を紹介します。

<展示内容>

今回の展覧会ではあえてテーマや傾向を定めることなく、現在の絵画の多様な広がりや鳥取県出身の四人の画家によって紹介したいと考えます。

色彩を抑制した物質感の強い画面にストロークをとおして形象が浮かび上がる秦博志、色面をコラーージュのように重ねて構成的な抽象絵画を描く安木洋平。彼ら二人が抽象表現を追究するのに対して、山下律子は厚く塗った表面を針で刻み、絵具を流し込むという独特の技法を用いて、画面に不思議な物語を繰り広げます。山田和之は犬や藤棚といった独特のモチーフを用いながらどこか不安で不穏な情景を表現します。

これまで県外での発表が多かったため、県内では比較的知られることが少なかった若い世代の作家四人の仕事、約110点を個展形式で紹介し、現代絵画の可能性について考えてみたいと思います。

<small>はたひろし</small> 秦博志	：《depth》2013年、《Green valley》2013年など	全29点
<small>やすぎようへい</small> 安木洋平	：《呼応》2013年、《アンダーグラウンド》2013年など	全24点
<small>やましたりつこ</small> 山下律子	：《MONTSE》2005年、《FOUNDRY》2013年など	全33点
<small>やまだかずゆき</small> 山田和之	：《GOLDEN DAYS》2004年、《Void》2012年など	全20点

- 2 会 期 平成26年1月11日(土)～2月14日(金) ※会期中休館日なし
- 3 会 場 鳥取県立博物館 2階 第2特別展示室
- 4 観 覧 料 一般600円(前売り、団体400円)
- 5 主 催 鳥取県立博物館
- 6 協 賛 日本通運株式会社、株式会社モリックスジャパン、株式会社吉備総合電設、三和商事株式会社

7 関連事業

- アーティストトーク① 講師：本展出品作家 安木洋平氏・山下律子氏
日時：1月11日(土)午後2時～3時30分 会場：県立博物館 企画展会場
対象：高校生～一般
- ギャラリートーク (当館担当学芸員)
日時：1月18日(土)午後2時～3時 会場：県立博物館 企画展会場
対象：高校生～一般
- アーティストトーク② 講師：本展出品作家 秦博志氏・山田和之氏
日時：2月1日(土)午後2時～3時30分 会場：県立博物館 企画展会場
対象：高校生～一般
- アートセミナー 講師：尾崎信一郎(当館副館長)
日時：2月8日(土)午後2時～3時30分 会場：県立博物館 会議室
対象：高校生～一般 内容：「絵画の嵐・具体美術協会について」